

第11回 令和7年4月28日（月）

「土曜日は女子バスケの県大会、日曜日は野球部の三浦学苑戦を観に行かせてもらいました。」

まずは野球部の皆さん、お疲れ様でした。立派な結果だと思います。濱岡さん、あなたの活躍なしではこの結果はなかったと思います。胸を張ってくださいね。小林さん、見事なリリーフでした。夏は二枚看板になれるよう頑張ってください。野手の皆さんも本当によく頑張ったと思います。一人ひとり川和の欠かすことのできない戦力としてしっかりと団結していたと思います。

3回表の1イニングだけでした。でもあの回は確かに差があったのかなと感じました。正面から受け止めて次に活かしてくれれば、あのイニングの経験は川和の財産になると思います。

たくさんの生徒、そして保護者やOBが応援してくれました。心の底から川和っていい学校だなと感じました。

「勝負の夏」を楽しみにしています。

女子バスケの皆さんも県大会、僅差で敗れましたがよく頑張りました。次は総体ですね。

私は総体の時、選手にこう言っていました。「総体は負ければ引退だからすべての試合が決勝戦です。そしていつかどこかで必ず負けます。大切なのは『3年生はコートに忘れ物をしないこと。』やり残したことなく戦い、バスケットを好きなまま終わること。」

私の教え子たちは指導者としていまもいくつかの高校や中学でバスケットを教えています。辛いのだと思います。

指導者になっていない教え子も、いまでも連絡をくれます。良い思い出を胸に引退した生徒は自分が親になったとき、バスケットではないかもしれませんがコートに戻ってきてくれると思っています。

結果ではなく、努力の過程や仲間と過ごした時間が自分の宝物になります。部活動に打ち込むすべての川和生が笑顔でその日を迎えられることを心より願っています。

3年生の皆さん、最後の舞台に向けて、高い次元の文武両道を極めてください。